スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

長野県 松本市

自 治 体 名 ： 長野県松本市
担 当 課 名 ： 教育委員会　教育政策課
電 話 番 号 ： 0263-33-3980

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	978.47 ㎢
人口	234,740 人
公立中学校数	19 校
公立中学校生徒数	5,645 人
部活動数	124 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

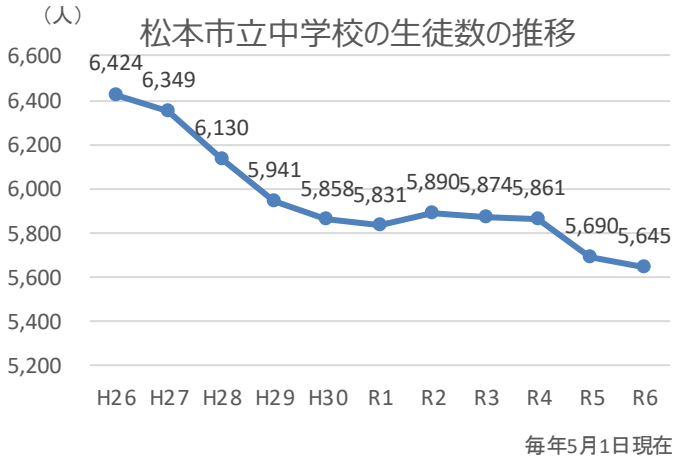
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和4年度に小学５年生～中学３年生の児童生徒・保護者及び中学校教師を対象にアンケート調査を実施。生徒のニーズは「楽しむこと」「自分にあった指導」など「参加する活動を主体的に選択できること」が多かった。

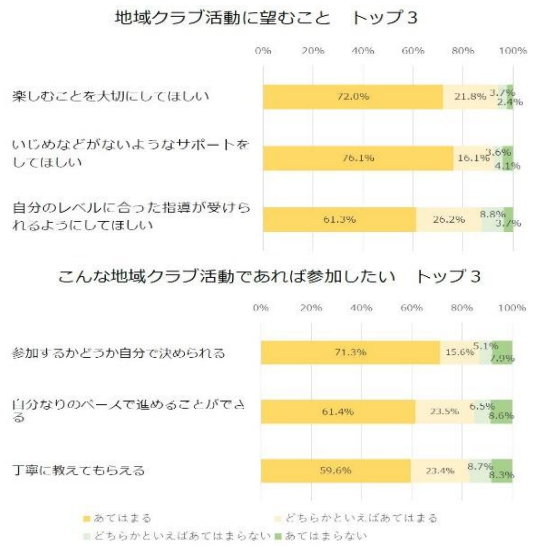
令和5年度に地域クラブのモデルケースを実施し、検討協議会の設置と推進計画の策定を進め、本市の目指す将来像と移行スケジュールを定めた。

本市では、中学生自身が参加する活動を主体的に選択するために、部活動の枠に捉われず、地域の多様な団体が様々な活動を展開することを目指し、移行期間における集中的・一体的な支援を実施している。

国と県のガイドライン（休養日、活動時間、規約・運営方針・活動計画の策定・公表、保険加入）に沿った民間団体を「まつもと子どもチャレンジクラブ（通称まつチャレ）」として公表。新しい発想での活動展開を進めるにあたり、多くの関係者が抱く「部活動の当り前」から意識を転換していくことが必要と感じている。



『松本市教育要覧』より作成



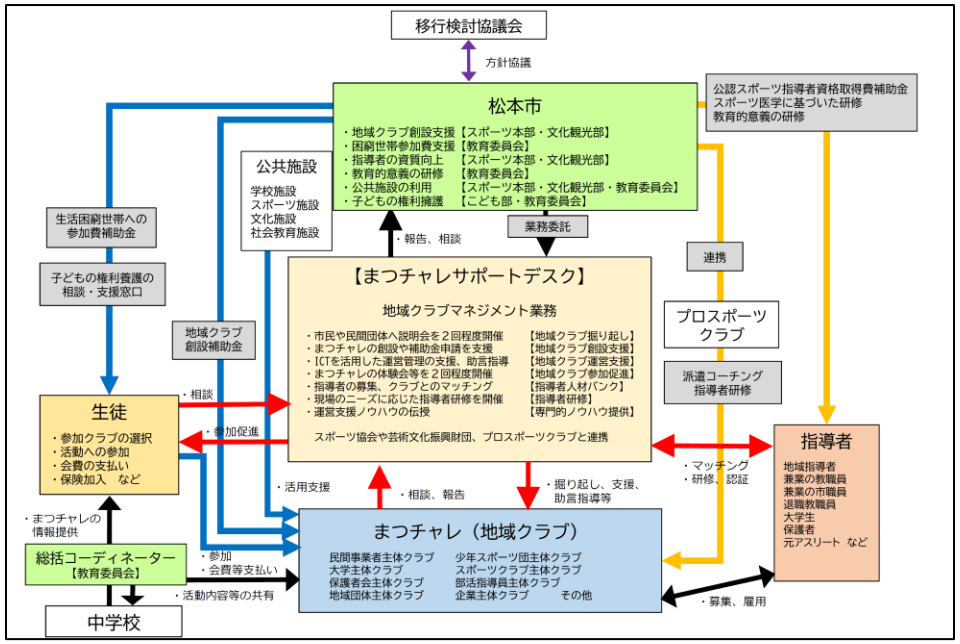
令和2年度アンケート調査より

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・教育政策課…全体統括、移行検討協議会の開催、国等との折衝・調整
・学校教育課…学校部活動との調整、学校施設開放の見直し、教育的意義の研修
・生涯学習課…文化・芸術活動の展開

◉首長部局

・スポーツ事業推進課…スポーツ活動の展開、指導者の確保・研修
・文化振興課…文化・芸術活動の展開、指導者の確保・研修

年間の事業スケジュール

令和6年6月
・プロスポーツ派遣コーチングを実施、以降計10回実施

8月
・第1回移行検討協議会を開催
・国・県のガイドラインに沿った地域クラブの名称を「まつチャレ」に決定

9月
・地域クラブ創設支援補助金、地域クラブ活動参加者支援補助金を施行
・まつチャレサポートデスクを開設（まつチャレの届出、コールセンターの設置、指導者人材バンクなど）
・まつチャレ通信の発行、以降月1発行
・市公式YouTubeで説明動画を配信、以降計4本を配信

10月
・第2回移行検討協議会を開催

11月
・まつチャレのロゴマーク正式決定

12月
・第3回移行検討協議会を開催
・市民向け説明会を開催 以降計2回開催
・学校開放の見直し方針案を教育委員会で協議

令和7年1月
・学校開放の見直し方針を、利用団体等に周知

2月
・指導者研修を開催 以降計11回開催

3月
・第4回移行検討協議会を開催
・アーバンスポーツ体験会を開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること　※市は、国・県のガイドラインに合致する民間クラブを「まつもと子どもチャレンジクラブ(通称まつチャレ)」として公表し、各クラブの運営に関与していない

中学校数	１９校	実施した地域クラブ総数	２６クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		１６クラブ（１６部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		１０クラブ
全体の指導者数	１５３人	全体の運営スタッフ数	把握していない

②各クラブに関すること　※「まつチャレ」として公表するクラブ

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
SHOHOKU WINGS	民間クラブ	バスケットボール	週1日	休日2時間程度	把握していない	R7.2～	本郷体育館	３人	把握していない	300円/回	中体連、協会主催大会
山鳩クラブ	民間クラブ	バドミントン（新）	週3回	平日2時間、休日3時間	把握していない	R7.2～	旭町小学校ほか	３人	把握していない	入会金1,000円 月会費2,000円	中体連
上高地ラグビースクール	民間クラブ	ラグビー（新）	週1回	休日9時から2時間	把握していない	R7.2～	波田扇子田運動公園	６人	把握していない	月会費500円	協会主催大会
S.Basketball Club	民間クラブ	バスケットボール	週5回	平日19~21時 休日 18:30~20:30	把握していない	R7.2～	菅野中学校	６人	把握していない	入会金5,000円 500円/回	協会主催大会
Shonan Yellow Peace	民間クラブ	バスケットボール（新）	週3回	平日19~21時 休日2時間	把握していない	R7.2～	寿台体育館ほか	５人	把握していない	入会金2,200円 月会費3,000円	中体連、協会主催大会
鎌田少年野球団中等部松本セントラルBBC	スポーツ少年団	軟式野球	週5回	平日16:30～18:30 休日8～11	把握していない	R7.2～	両島浄化センターグラウンドほか	５人	把握していない	月会費3,000円	中体連
鎌田FC	民間クラブ	サッカー	週1回	休日8~10時	把握していない	R7.2～	鎌田中学校ほか	６人	把握していない	入会金5,000円 月会費3,500円	中体連

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること　※「まつチャレ」として公表するクラブ

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
梓川少年剣道教室	スポーツ少年団	剣道	週2回	平日1時間、休日2時間	把握していない	R7.1～	梓川体育館	10人	把握していない	月会費1,200円	中体連
M.B.C.(松本ベースボールクラブ)	民間クラブ	軟式野球	週4回	平日2時間、休日3時間	把握していない	R7.1～	開成中学校ほか	４人	把握していない	月会費3,000円	中体連、協会主催大会
FCSURGE(波田FC)	民間クラブ	サッカー	週1回	休日9~12時	把握していない	R7.1～	波田中央グラウンドほか	６人	把握していない	入会金5,000円 月会費3,000円	中体連、協会主催大会
EYL FC	スポーツ少年団	サッカー（新）	週4回	平日 16:50~18:50 休日10~12	把握していない	R7.1～	松島中学校ほか	２人	把握していない	入会金10,000円 月会費5,000円	中体連、協会主催大会
チーム六等星バドミントンクラブ	民間クラブ	バドミントン(新)	週2回	平日19~21 休日13~16	把握していない	R7.1～	源池小学校ほか	９人	把握していない	月会費4,000円	中体連
梓川男子バスケットボールクラブ	スポーツ少年団	バスケットボール	週2回	平日19~21 休日9~11	把握していない	R6.11～	梓川中学校ほか	５人	把握していない	入会金3,000円	中体連
梓川FC　JY	スポーツ少年団	サッカー	週2回	平日19~21 休日9~12	把握していない	R6.21～	梓川中学校ほか	７人	把握していない	入会金2,500円 月会費3,000円	中体連
まつもとTFC	競技団体	陸上競技(新)	週1回	休日8~11	把握していない	R7.1～	岡田ウォーターフィールドほか	２０人	把握していない	入会金2,000円 月会費500円	中体連
まつもと城東バドミントンクラブ	民間クラブ	バドミントン(新)	週3回	平日17~19 休日13~16	把握していない	R6.12～	本郷小学校ほか	１８人	把握していない	入会金6,000円 月会費6,500円	中体連
Always	民間クラブ	バスケットボール	週3回	平日17~19 休日3時間	把握していない	R6.12～	高綱中学校	３人	把握していない	入会金1,000円 月会費3,000円	協会主催大会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること　※「まつチャレ」として公表するクラブ

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
VCMAST	民間クラブ	バレーボール（新）	週3回	平日19~21 休日 17:30~20:30	把握していない	R5.11～	鎌田小学校	5人	把握していない	入会金3,000円 月会費4,000円	協会主催大会
あづみ野ジュニア卓球クラブ	スポーツ少年団	卓球	週2回	平日2時間 休日3時間	把握していない	R5.11～	梓川体育館	5人	把握していない	入会金1,400円 月会費2,000円	協会主催大会
シャルマン・ラグビー・アカデミー	民間クラブ	ラグビー（新）	週3回	平日19~21 休日 10:30~12:30	把握していない	R5.11～	扇子田公園運動広場ほか	4人	把握していない	月会費5,000円	協会主催大会
TEAM Rugos	競技団体	陸上競技（新）	週2回	平日2時間 休日3時間	把握していない	R5.11～	梓川小学校ほか	1人	把握していない	入会金3,000円 月会費4,000円	中体連
NPO LINKS	民間クラブ	卓球	週2回	平日19~21 休日19~21	把握していない	R5.11～	旭町中学校	2人	把握していない	0円	中体連、協会主催大会
FC松本Norte United	民間クラブ	サッカー	週1回	休日3時間	把握していない	R5.11～	旭町中学校ほか	4人	把握していない	入会金5,000円 月会費3,500円	中体連
松本北東M-ONEクラブ	民間クラブ	野球	週1回	休日3時間	把握していない	R5.10～	清水中学校ほか	5人	把握していない	入会金3,000円 月会費2500円	中体連、協会主催大会
スワンTTC	民間クラブ	卓球	週1回	休日9~12	把握していない	R5.10～	清水中学校	3人	把握していない	入会金3,000円 月会費1,500円	協会主催大会
サンズ　バスケットボールクラブ	民間クラブ	バスケットボール	週1回	休日3時間	把握していない	R5.10～	山辺中学校ほか	6人	把握していない	0円	中体連

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●3月29日（土）に、次年度の地域クラブ活動開始に向け一般社団法人アーバンスポーツ信州と連携し、アーバンスポーツ体験会の開催を決定

2.実証内容と成果

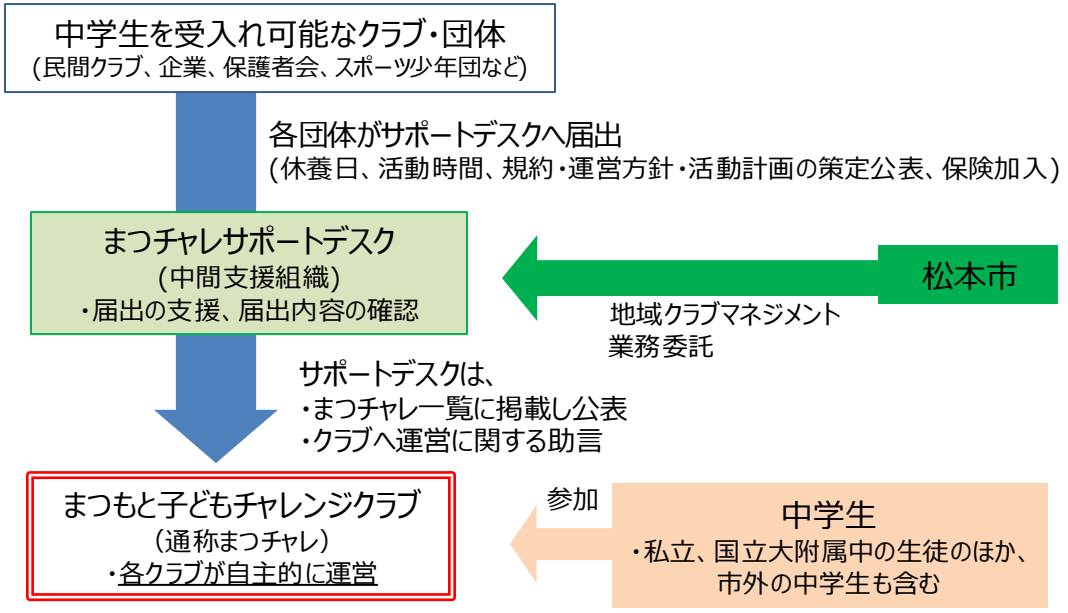
スポーツ庁

主な取組例

●まつもと子どもチャレンジクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、ラグビー、剣道、陸上競技、バレーボール、卓球
運営団体名	民間クラブ、スポーツ少年団、競技団体などが、個々に運営主体となる
期間と日数	R5.10以降に、順次各クラブで実施
指導者の主な属性	民間指導者、教員など
活動場所	市内学校施設、スポーツ施設など
主な移動手段	自転車、保護者の送迎など
１人あたりの参加会費等（年額）	各クラブが独自に設定
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 ・生徒１人あたり：800円/年 ・指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

※市が提示した規約例を参考に、各クラブで設定。以下は、市が示す規約例

- ●会長　１名
- ●副会長　１名
- ●会計　２名
- ●運営委員　必要な人数

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

〇移行検討協議会を年4回開催し、地域クラブの要件や支援策等を検討
〇総括コーディネーター1名を配置。学校と地域クラブとの連携等を進める
〇地域クラブマネジメント業務を民間事業者に委託。地域クラブを掘り起こし、規約の作成など創設・運営を支援
〇地域クラブ創設支援補助金として、まつチャレとして市に届出し活動を実施する団体に、初期費用等にかかる経費の一部を補助【実証事業対象外経費】

取組の成果

〇移行検討協議会を年4回開催。PTAや市スポーツ協会、大学関係者など、多様な団体との連絡調整や、具体的な支援策の検討を進めた。協議会での協議により、多くのクラブが創設されるために、まつチャレ(地域クラブ)の登録要件は国・県のガイドラインを遵守することに留めて、さらに、市への許認可制ではなく届出制にすることで、市やクラブの事務手続きの簡素化を図った
〇地域クラブマネジメント業務により、Webサイト「まつチャレサポートデスク」を開設。各種問合せに対応するとともに、規約作成など39件のまつチャレ創設を支援し、うち27件がまつチャレとして活動を開始した。また、市民説明会を2回開催し、多様な団体に対して、まつチャレとして中学生を受入れるよう周知を図った
〇９月に地域クラブ創設支援補助金を施行。地域クラブ活動にかかる初期費用に対し1年目10万円、2年目5万円を補助。16件のまつチャレから申請あり



Webサイト「まつチャレサポートデスク」

コーディネーターの具体的な動きの実績

随時、中学校を訪問し、学校長や部活部顧問との連絡調整のほか、保護者会、校長会などでの説明を実施。部活動をベースにした保護者会や部活動指導員などが運営主体となるまつチャレ(地域クラブ)の創設をコーディネート。その結果、部活動から移行するまつチャレが16件創設された。

今後の課題と対応方針

〇移行完了後は、生涯スポーツとして他年代の活動と同様になることから、まつチャレの届出などをいつまで行うかなど、移行後の検討が必要
〇運営主体が様々であることから、共通運営マニュアルの策定に至らなかった。次年度に引き続き策定を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・地域クラブマネジメント業務として、指導者人材バンクを開設
・教育委員会による学校部活動の教育的意義を伝える研修を実施
・プロスポーツクラブと連携した指導者研修を実施
・公認スポーツ指導者資格等の取得・登録費用を補助【実証事業対象外経費】

人材バンクの人数

9名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	1名
30代	1名
40代	1名
50代	3名
60代以上	3名

マッチングなど

・まつチャレとのマッチング実績は0件
・部活動保護者会から、まつチャレ創設の前相談として紹介依頼が1件。教員の異動を見据え、地域指導者を探す保護者会のニーズがある

種目

・サッカー
・軟式野球
・卓球
・バレーボール×２
・マウンテンバイク
・バスケットボール
・ラグビー
・空手道、合気道

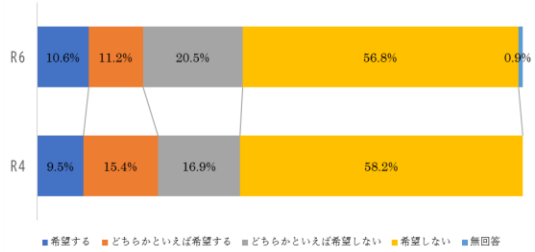
資格有無

・中高教員免許
・サッカー4級審判員
・PMBIA公認レベル1インストラクターなど
・登録者9名のうち、8名が資格保有者、1名が元資格保有者

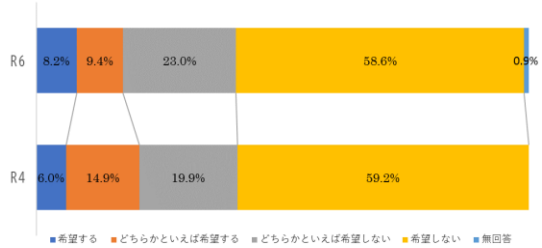
取組の成果

・R6.9実施のアンケート調査により、回答した331人の中学校教職員(回答率62.3%)のうち、地域クラブでの指導を「希望しない」「どちらかといえば希望しない」が、休日で77.3%、平日で81.6%となり、いずれもR4調査時より微増している。教員が指導者となることを前提にはできない
・人材バンクへの登録について、関係団体や各施設等へチラシにより周知を行なったが、登録者数が伸びなかった。そもそも、フリーの指導者は想定以上に少ないと考えられる。
・今後は、「指導者は少ない」という前提条件を持ちながら、見守りスタッフなど多彩なかたちで関与してもらえる人材を確保する必要がある。

地域クラブの指導希望【休日】



地域クラブの指導希望【平日】



令和6年度アンケート調査より

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

①部活動の教育的意義

・講師は教育委員会指導主事

・部活動が大切にしてきた教育的意義と、中学生に対する指導方法を行動科学の視点から理解するもの

②女子生徒の理解と支援

・講師は本郷由貴氏（国立スポーツ科学センター）

・女子中学生の心身の不調と支援方法を理解し、実践に繋げるもの

③プロスポーツクラブ指導者研修

・講師は、柳沢裕一氏(信濃グランセローズ監督)、山本憲吾氏(VC長野トライデンツJr.女子監督)、渡辺智之氏(信州ブレイブウォリアーズアカデミー運営部長)、鐵戸裕史氏(松本山雅FC育成部長)

・安全・健康面の配慮やコンプライアンス

・選手の技術力を高めるための指導ポイントや練習メニュー

指導者研修の参加実績

①部活動の教育的意義　開催日:2/14、2/19　参加人数: 10 人

②女子生徒の理解と支援　開催日:3/1　参加人数:16人

③プロスポーツクラブ指導者研修　開催日:3/2、3/9、3/16、3/21
参加人数:24人　※3/3現在

受講者の声

・一方的な指導ではなく、子どもが自ら目標を設定し、その達成を指導者がサポートすることが大切だと感じた

・教員が行動分析学による接し方を意識していることが分かり参考になった

・ワークショップで他の種目の指導者と意見交換でき、新しい発見があった

公認スポーツ指導者資格取得補助金 【実証事業対象外経費】

対象経費	対象資格	補助率	補助限度額
受講費用	⑴ JSPOコーチ1及びスタートコーチ ⑵ JBA及びJBA公認C級コーチ	2分の1以内	20,000円
登録料	JSPOコーチ１及びスタートコーチ	8分の1以内	2,500円
	JBA及びJFA公認C級コーチ	2分の1以内	

R6実績：受講費用４件、登録料４件

今後の課題と対応方針

・指導者研修への参加は、参加者が伸び悩んだ。次年度は、研修参加者を指導者に限定せず保護者や一般市民にも広げることで、見守りスタッフなど関係人材の育成や、市民への理解促進につなげたい

・次年度は、新たに、医療関係者と連携して、スポーツ医学に基づく安全管理の研修を開催予定

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・市内で活動するプロスポーツクラブと連携し、指導者研修と派遣コーチングを実施
・部活動で実施する８種目の競技団体代表者とプロジェクトチーム会議を組織し、3回の会議を開催
・企業の参画促進のため、松本青年会議所と連携し、3/4に研修会を実施。約80名が参加

取組の成果

・プロスポーツクラブによる指導者研修については、P10に記載済み
・プロスポーツクラブによる派遣コーチングでは、中学生とその指導者がプロの指導を受けられる機会となり、競技性を高めることができた
・プロジェクトチーム会議では、部活動の種目を継続して実施するための方法等を検討
・松本青年会議所とは、「部活動地域移行を地域の活力向上につなげる」という意図を持って連携を進めた。次年度も継続して連携し、企業による地域クラブ創設や外部資金獲得の仕組みづくりを進める



松本青年会議所主催研修会

プロスポーツクラブ派遣コーチング

開催日	講師		会場	参加人数
8/5	VC長野トライデンツ	Jr監督、事務局	エア・ウォーターアリーナ松本	54人
11/4		Jr監督、選手	内田体育館	20人
1/13、14		コーチ、選手	エア・ウォーターアリーナ松本	113人
11/24	信濃グランセローズ	コーチ、選手	開成中学校ほか	93人
12/14		コーチ、選手	菅野中学校ほか	30人
2/23	信州ブレイブウォリアーズ	コーチ2名	里山辺体育館	30人
3/1		コーチ2名	梓川体育館	15人
3/29予定		調整中	高綱中学校ほか	－
3/8、9、15予定	松本山雅FC	コーチ他	菅野中学校ほか	－

今後の課題と対応方針

・プロスポーツクラブとの連携事業は、地域クラブ活動の質の向上に直結するため、継続実施する
・企業・大学に対して、具体的な連携のかたちやメリットを提示できず、連携を進められなかった。引き続き検討を進め、連携を図る

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

〇近隣市町村の生徒が、まつチャレに参加することを可能とし、実際に、他市町村から参加していることを確認
〇隣接する山形村・朝日村と協議を重ね、「地域クラブの要件」「クラブ・生徒への支援策」を、各自治体で同一の制度とした

取組の成果

〇まつチャレの「シャルマン・ラグビー・アカデミー」では、本市以外に、山形村・安曇野市の生徒が参加し、本市の施設が予約できない場合は、山形村の施設を利用するなど、広域的な活動を実施している
〇活動場所の確保と、生徒の交流機会の拡大に効果的だった
〇山形村・朝日村では、本市と同じ内容で、地域クラブの要件、地域クラブ創設支援補助金、地域クラブ参加者支援補助金を実施する予定。そのため、1市2村の生徒とクラブは、同じ支援が受けられ、広域的な活動実施・参加が可能となる



長野県ホームページより転載

今後の課題と対応方針

〇他市とも市域を越えた生徒の参加について協議したが、クラブ運営に公費を充てるので他市からの参加は不可とのことで、不調に終わった
〇本市のまつチャレにおいて、引き続き、他市町村からの生徒の参加を認めることで、生徒の交流拡大と、自立的なクラブ運営を進めていく

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

〇まつチャレ及び地域クラブ創設支援補助金の要件に、実施種目や参加者の限定を設けず、部活動にない種目や、他年代と一緒の活動などが実施された
〇すべてのまつチャレの運営方針を公表することで、生徒が、競技志向かレク志向かで参加クラブを選択することが可能になった
〇まつチャレの「always」で、競技志向のチャンピオンコースとレク志向のエンジョイコースの2つの活動を実施。その活動を市公式YouTubeで配信し広く周知した
〇小学生と一緒に活動するなど、他年代との交流を促進した

活動の詳細 【always】

参加人数	15人(中学生11人、小学生4人)	指導者数	3人
属性	部活動指導員が部活動をベースに創設した民間クラブ		
具体的な内容	・チャンピオンコース【競技志向、月10回活動、14名が参加】 ・エンジョイコース【レク志向、月1~2回活動、1名が参加】 ・同じ会場で同じ指導者によって同時に実施 ・エンジョイコースはシュートが好きな生徒が参加し、指導者はシュートの方法を指導		
関係者の声	●代表者（指導者） ・団体での活動は苦手だがシュートが好きということで、通常の活動とは別にエンジョイコースを設けた ・本人が楽しんで参加できるなら、このかたちで良い		
運営経費	・収支については、把握していない ・チャンピオンコースの月会費3,000円だが、エンジョイコースは1回500円とし参加しやすく設定		



松本市公式YouTubeチャンネルより

1　活動目標
　心身の健全な育成、スポーツの普及を推進し地域社会のスポーツ文化の振興に寄与することを目的とする
2　目指す生徒像
　常に成長・感謝を忘れず取り組む姿勢
3　育てたい力
　礼儀正しく何事にも全力で取り組む力
4　地域クラブ活動の活動内容
（1）指導方針
　勝利至上にならずバスケットを楽しみながら技能を高める
（2）指導者
　代表をメインとし後継指導者の育成にも尽力する
（3）適切な休養日及び活動時間の設定
　原則「松本市中学生期のスポーツ活動指針」に準ずる
（4）大会の参加
　リーグ戦、選手権、中体連（今後参加予定）

【alwaysの運営方針】
Webサイト「まつチャレサポートデスク」より転載

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

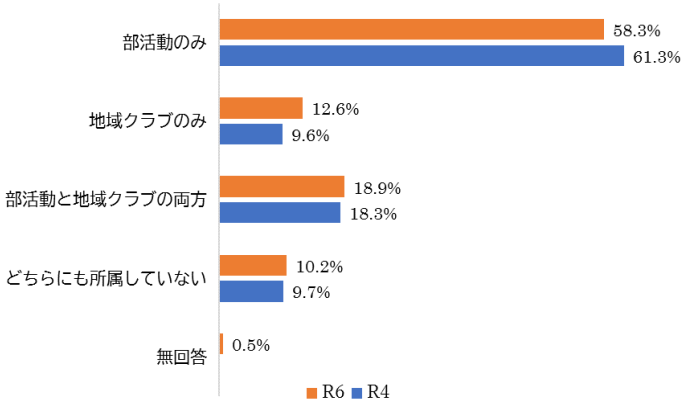
〇令和4年度に続き、アンケート調査を実施
〇調査時期は9～10月
〇対象者は小学5・6年生とその保護者、中学1・2年生とその保護者、中学校教職員
〇Web上で回答

〇2年前に比べ、以下の変化を確認
①中学生の部活動の加入率は低下し、地域クラブの加入率が上昇
②保護者の金銭負担の許容額が上昇
③教職員は、休日・平日ともに指導希望が低下

アンケート調査の結果

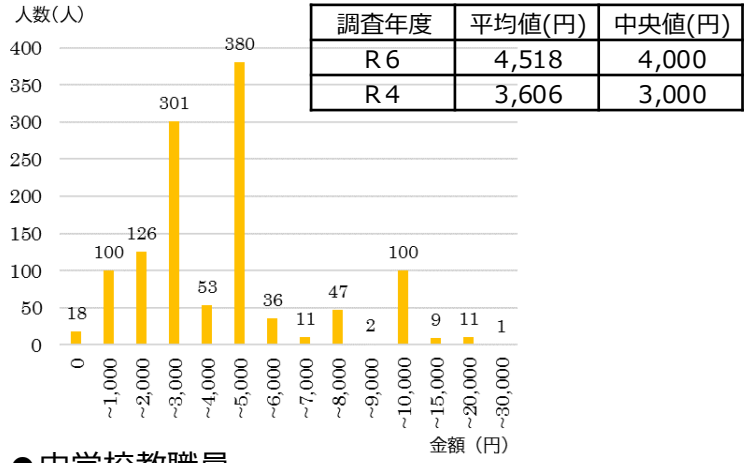
〇回答の一部は以下のとおり

●中学1・2年生
「今の所属は部活動、地域クラブのどちら？」

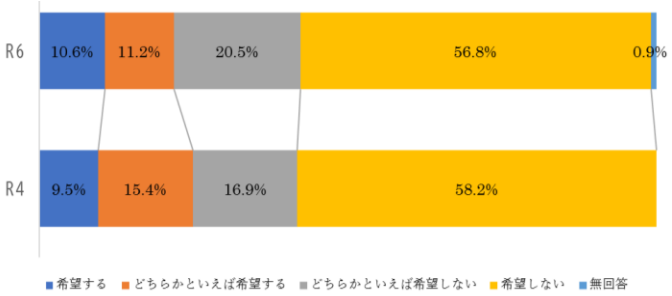


●中学1・2年生の保護者
「今の所属は部活動、地域クラブのどちら？」

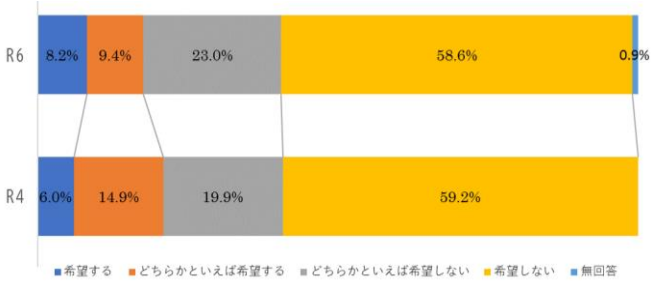
調査年度	平均値(円)	中央値(円)
R６	4,518	4,000
R４	3,606	3,000



●中学校教職員
「休日の地域クラブ活動の指導希望」



●中学校教職員
「平日の地域クラブ活動の指導希望」



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

〇地域クラブ創設支援補助金を創設。一定の条件を満たしたまつチャレに対し、初期費用等にかかる経費の一部を補助。条件は以下のとおり【実証事業対象外経費】

・市内在住の中学生が5人以上在籍、週1回以上活動、主な活動場所が市内

・大会・コンクールなど成果発表の機会がある、年1回市主催の指導者研修を受講

〇初期費用を参加者負担としないことで、費用負担の軽減を図る

〇1年目10万円、2年目5万円を上限とし、徐々に受益者負担等による自立的な運営を促す

〇地域クラブ参加者支援補助金を創設。就学援助受給家庭が、創設支援補助金の交付を受けるまつチャレに参加する場合に、年24,000円を上限に参加費を補助【実証事業対象外経費】

〇確実な個人情報保護により安心して地域クラブ活動に参加できるよう、対象者へ直接給付

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

各クラブが自立的に運営するため、把握・分析は行っていない

■ランニングコストの分析

各クラブが自立的に運営するため、把握・分析は行っていない

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

〇本市では、各クラブが自立的に運営し、会費や指導者謝礼を独自に設定

〇まつチャレとして公表している26クラブの傾向は以下のとおり

1　入会金：平均2,350円、最低額０円、最高額10,000円

2　月会費：平均2,380円、最低額０円、最高額6,500円

〇種目・クラブにより必要経費や参加費収入が異なるため、行政が一律に基準を設けることは、各クラブの自立的な運営を妨げるとともに、結果的に、中学生の体験機会の多様性が失われることになると考える

収支バランス

各クラブが自立的に運営するため、把握・分析は行っていない

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

〇地域クラブ創設支援補助金

・申請13件、相談4件

・年度途中の制度開始だったことから、次年度から2年間の交付を希望するクラブが多く、申請が伸び悩んだ

・補助金は年度末に一括交付されるため、現時点で受領したクラブはなく、実際にどの程度会費等が軽減されたかは把握できない

・前年度は指導者謝礼を対象にした補助金だったところ、用途が限られ利用しにくいというクラブ関係者の声を反映し、初期費用など幅広い用途に利用できる補助金を新たに策定したが、クラブ関係者からは好評を得ている

〇地域クラブ参加者支援補助金

・申請・相談ともに0件

・今年度は部活動も継続するため、まつチャレに参加する生徒がいなかったと推察

〇こうした行政の財政サポートがあることで、クラブ関係者・保護者等に一定の安心感を与えることができ、地域移行への理解が進んだ

今後の課題と対応方針

〇両補助金とも、対象者への直接的な金銭給付であることから、実証事業の対象外経費である

〇各クラブの主体性や多様性を担保し、困窮世帯が安心して参加できる仕組みとして、市単費で実施しているが、財政負担が大きくいつまで継続できるか不透明

〇そのため、クラブには公費に頼らない自立的な運営を、保護者には受益者負担を求めながら、取組みを進めている

〇次年度は、両補助金の申請状況や効果を検証し、恒久的な制度とするかの検討を進める

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

〇民間団体であるまつチャレの利用に向け、学校開放ルールの見直しを検討
〇庁内関係課や教育委員会での議論により、見直し方針を策定
〇R7.1に、学校施設利用団体等へ見直し方針を周知
〇次年度に関係条例を改正し、まつチャレの利用を促進する

取組の成果

〇現状・課題

①社会人や小学生の団体も含め、10人以上であれば登録団体(優先予約・利用料減免)となり、既に登録団体で予約が埋まり、新規利用が困難
②他のスポーツ施設も既に予約が埋まっており、学校施設でまつチャレだけを優先すると、これまで利用していた他世代の団体が活動場所を失う
③学校施設の予約区分・料金体系が、朝・午前・午後・夜の概ね4時間ごとに1区分となり、活動時間に合っておらず無駄な予約が発生
④テニスコートが開放対象になっておらず、学校活動以外では利用できない

〇見直し方針【R7.4～】

①まつチャレになれば、人数に関係なく登録団体になれる。ただし、予約優先順位は、他の年代の登録団体と同等
②すべての登録団体の利用上限を新設（平日:週1日、2時間まで　休日:週1日、3時間まで　　体育館と運動場の同時予約は禁止）することで予約枠を空け、新規利用を可能とする　※予約が重複しない場合や、他の登録団体の了解が得られる場合はこの限りではない
③条例改正により、予約区分・料金体系を1時間単位に変更し、予約枠を細分化することで、予約枠を増やす
④条例改正により、テニスコートを新たに開放対象に加え、学校活動以外での利用を可能とする

今後の課題と対応方針

〇平日夜間は、他年代の団体と予約が競合し、部活動に比べると活動時間が減少する可能性がある。しかし、中学生だけを優遇することは世代間の不公平を生むため、理解を求めるしかない
〇テニスコートは、部活動以外では学校活動で利用せず、今後は地域クラブの利用だけとなる。その場合、維持管理費として一定の受益者負担が必要との声もあり、利用料減免をいつまで継続するか検討が必要

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

〇R5の実証事業で明らかになった、生徒・クラブ・指導者のそれぞれの課題に対し支援策を実施し、一体的に取組みを進めた

〇市民・関係者への情報発信を進めるにあたり、「市の目指す姿とその理由」「実現に向けた具体的施策」を改めて整理したことで、取組みに一本の筋が通り、市長部局との連携や学校施設開放の見直しなどが進んだ

〇「中学校の部活動を行政や民間事業者が担う」というイメージが先行するなかで、本市では、部活動をそのまま継承するのではなく、新たに民間活動として展開を進めるため、関係者のイメージの転換を促すことを意識した

〇休日移行だけでなく、令和8年度末に平日移行というスケジュールも公開したことで、まつチャレのうち17クラブが平日も活動を実施することとなり、平日移行に向けた機運も高まりつつある

●成果の評価

〇地域クラブの創設・運営支援について、中間支援を民間事業者に委託して地域クラブマネジメント業務として実施。「まつチャレ」という地域クラブの枠組みを設定し、規約例の作成、クラブの公表などを一体的に実施し、取組みが一層推進した

〇「まつチャレ」は、民間の多様な団体が独自に運営することから、共通運営マニュアルが各クラブの自主性・独自性を阻害する可能性も検討したため、策定が進まなかった

〇60程度のまつチャレの創設を目指すも、30程度に留まり、現状では不十分と言わざるを得ない。様々な団体への草の根的な掘り起しが必要

〇指導者研修は、ほぼ計画通り実施することができたが、参加者数が伸び悩んだ。指導者へ参加を義務付けるだけでなく、一般・学生も広く対象にし、指導者候補を育成する機会としたい

●今後に向けて

〇部活動地域移行を、単に「部活動改革」として部活動を前提と考える関係者も多く、議論がかみ合わないことも多々ある。引き続き、広報活動を強化して市の目指す姿を示しながら、関係者と同じ方向を向いて取組みを推進する

〇クラブから、指導者の雇用契約の確定申告について不安の声があったことから、改めて共通運営マニュアルの策定を進め、クラブの運営をサポートする

〇市単費で各種補助金を実施しているが、各クラブの自主性が中学生の体験機会の多様化につながることから、次年度も各種補助金を継続

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

〇令和6年9月　「まつチャレサポートデスク」周知チラシを配付

〇令和6年12月　説明会「どうなる？部活動の地域移行」周知チラシを配付

〇令和7年2月　令和6年9月実施のアンケート調査結果を市HPで公開



「まつチャレサポートデスク」周知チラシ



説明会「どうなる？部活動の地域移行」周知チラシ



令和6年度アンケート調査結果

出典:いずれも松本市教育委員会作成

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



広報まつもと3月号_表紙



広報まつもと3月号_中身



プロスポーツクラブ派遣コーチング（VC長野トライデンツ）



説明会「どうなる？部活動の地域移行」

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

・協議会設置
・4種の運営主体によるモデルケース実施

▶

・他市事例の調査
・庁内で取組み方針案を検討

▶

・市の取組みの検討
・関係者と協議

▶

・移行推進計画を策定
・次年度の市の取組み案を決定

▶

令和６年

・事業費予算化のため、庁内・市議会で協議

●ステークホルダー

・学校、R5年度モデルケース、市長部局（スポーツ事業推進課、文化振興課）、教育委員会（教育政策課、学校教育課、、生涯学習課）、総括コーディネーター

●経過

・令和4年度：アンケート調査実施し、中学生のニーズ等を把握
モデルケースの実施に向け、該当中学校・既存スポーツ団体等と協議

・令和5年度：月2回程度、庁内関係課担当者会（教育政策課、学校教育課、スポーツ事業推進課、文化振興課、生涯学習課）を開催
モデルケースを実施。該当中学校、該当部活動保護者会、該当クラブと何度も協議し、課題等を抽出
スポーツ事業推進課・文化振興課が、中学生を受入れる民間クラブ数を調査、地域クラブの実施主体としての可能性を検討
移行検討協議会を設置。モデルケースの状況、他市事例、市内クラブ等をもとに市の方針を協議し、地域移行推進計画を策定
随時、校長会、保護者会、部活動顧問会、競技団体会議などで、進捗報告と意見聴取を実施

・令和6年度：6月補正予算において、取組みにかかる事業費を協議し予算化。具体的な取組みを実施

●実施にあたって生じた課題

・正解がないなかで、庁内も含めほとんどの関係者が断片的なイメージしか持っておらず、議論が堂々巡りになりがちだった

●実施内容、工夫した点 等

・先進自治体への聞き取り調査などにより他市事例の比較検討を行い、まずは庁内で、移行後の目指す姿と、その具体的な移行方法を検討した

・市がイメージを示すことで、関係者からの意見も具体的になり、協議が進んだ

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	R6			R7												R8												R9	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
国	**改革推進期間** 休日における地域の環境整備を着実推進 【地域クラブ活動への移行に向けた実証事業】															**改革実行期間（～R13）** R7春に新たな方針を策定し、ガイドライン改定を予定 【具体的な支援策は未定】													
県	**休日移行期** 地域の実情に応じて、新たな地域クラブ活動の環境を整備																											将来的に、すべての部活動を地域クラブ活動に移行	
松本市	**移行準備期** 移行に向けた環境を整備 【60のまつチャレを想定】 ・文化部や山間エリアの課題検討			**休日移行期** 年度末までに、休日の学校部活動を終了 【100のまつチャレを想定】 ・種目、地域別の活動状況を把握し、個別の対応策を検討												**平日移行期** 年度末までに、平日の学校部活動を終了 【140のまつチャレを想定】 ・種目、地域別の活動状況を把握し、個別の支援を実施													**活動充実期** 移行完了により支援終了も、国の財政支援がある場合は、支援策を検討・実施	
中学校部活動	部員の少ない部活動は、休日活動の早期終了や部活動終了を検討			3年生の引退や新人戦終了を目途に、休日の部活動を終了								年度末までにすべての休日部活動を終了 部員の少ない部活動は、部活動終了も検討				3年生の引退や新人戦終了を目途に、部活動終了								年度末までにすべての部活動を終了 まつチャレが難しい種目・地域は別途検討					
地域クラブマネジメント業務	**●まつチャレサポートデスクWeb運営、コールセンターの設置** ・対面説明会（12/22、2/1） ・解説動画公開 ・創設支援補助金受付 ・まつチャレ一覧の公開・更新 ・指導者人材バンク ・指導者研修（3/1）			**●まつチャレサポートデスクWeb運営、まつチャレ充実に向けた地域団体との連携強化** ・地域クラブの掘起し　・対面説明会（年2回程度）、解説動画公開 ・地域クラブ創設支援　・創設支援補助金受付　・相談受付　・クラブ一覧管理 ・地域クラブ運営支援　・実施状況把握、相談受付、クラブ一覧更新 ・地域クラブ参加促進　・体験会等イベント開催、生徒・保護者説明会（年2回程度）、解説動画公開 ・指導者人材バンク　・大学、民間企業等への指導者登録呼びかけ ・指導者研修　・課題に対応した研修を随時実施、市主催研修補助																										
指導者研修	**●教育的意義に関する指導者研修**（2回　1～2月） **●プロスポーツクラブ指導者研修** 4回　2～3月			**●教育的意義に関する指導者研修**（年2回程度）																									
				●プロスポーツクラブ指導者研修（4団体×年2回）																									
				●スポーツ医学に基づいた指導者研修（年2回）																									
補助金等	**●参加費支援補助金**																												
	●創設支援補助金　R6申請（1年目：R6、2年目：R7）																												
				●創設支援補助金　R7申請（1年目：R7、2年目：R8）																									
																●創設支援補助金　R8申請（1年目：R8、2年目：なし）													
学校開放	**●方針決定** ・教育委員会 ・学校開放管理指導員会議 ・移行検討協議会			**●条例改正準備**			**●条例改正** ・利用料　電気料の区分 ・テニスコート追加			**●改正内容等周知**					**●改正後の内容での予約受付開始** （12月使用分以降）														
	●予約上限の設定 （平日1日2時間以内、休日1日3時間以内）			**●公共施設予約システム改修**（利用料・電気料の変更、テニスコート追加）																									
				●見直し内容の検討（登録団体の廃止、廃止後の予約方法・料金体系等の運用全般）												**●事業内容の見直し**（R7年度中にR8年度以降の見直し内容・スケジュールを検討） ・登録団体の廃止、廃止後の予約方法・料金体系等の運用全般（条例・規則改正含む） ・見直し内容に合わせたシステム改修の必要有無の検討（予算措置含む）、必要な場合は改修 ・見直し内容の周知、説明（学校、利用者等）													
まつチャレ	まつチャレサポートデスク支援と創設支援補助金を受けて、創設・活動開始、運営継続																											●支援完了 ・塾などと同様に自立した運営を行う	
	参加者及び会場の確保、大会への参加・運営、指導者の確保、外部資金の獲得																												